

2025年度 事業計画書

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

(ノーステック財団)

2025 年度事業計画 目次

2025 年度 事業方針.....	1
1. イノベーション創出に向けた人材・技術シーズの発掘と育成	3
<大学発技術シーズへの研究開発支援>	3
(1) 若手研究人材育成事業（札幌市補助・自主）	3
(2) イノベーション創出研究支援事業（北海道補助・自主）	3
(3) 札幌バイオシーズ事業化支援事業（札幌市補助）	3
(4) 半導体／GX 関連技術シーズ育成事業（自主）	3
(5) 次世代型研究開発事業（自主）	3
<産学連携研究開発プロジェクトの創出・育成>	3
(6) 産学連携研究成果展開事業（自主）	3
(7) 成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省補助）	4
<大学発スタートアップ創出に向けた支援>	4
(8) スタートアップ・エコシステム共創プログラム事業（科学技術振興機構委託）	4
2. バイオ・ヘルスケア産業の育成・創出	5
<新事業創出に向けた研究開発支援>	5
(1) 先端研究産業応用検証事業（札幌市補助）	5
(2) 医療連携開発支援事業（札幌市補助）	5
(3) 研究開発支援補助等運営事業（札幌市補助）	5
<新規参入企業・スタートアップの課題解決支援>	5
(4) 新規参入支援事業（札幌市補助）	5
(5) 展示商談会等参加支援事業（札幌市補助）	5
<機能的食品・健康関連産業創出>	5
(6) 機能的食品開発支援事業（外部資金）	5
(7) バイオ・健康長寿産業創造事業（自主）	5
3. ものづくり産業の育成と集積	6
<新技術・新製品開発、実用化・事業化に向けた支援>	6
(1) ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業（札幌市補助）	6
(2) ものづくり産業育成支援事業（自主）	6
<省力化・労働生産性向上に向けた支援>	6
(3) 製造拠点省人化・省力化促進事業（札幌市補助・自主）	6
(4) グリーン・デジタル推進事業（自主）	6
<クラスター形成に向けた地域の仕組みづくり>	6
(5) 地域産業クラスターものづくり支援事業（自主）	6
(6) 食品産業クラスター形成支援事業（自主）	6

4. 持続可能で強靱な北海道産業の創出	7
＜未来を見据えた産業創出＞	7
(1) 未来創造事業（自主）	7
(2) 経済産業支援事業（自主）	7
＜基盤技術創出支援＞	7
(3) 幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助・幌延町補助・共同研究）	7
5. 地域×テクノロジーを支える共創基盤の構築	8
(1) チャレンジフィールド北海道事業（自主）	8
(2) 北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大 R&BP 推進協議会委託）	8
(3) 産学官連携推進事業（自主）	8
(4) コラボほっかいどう運営事業（自主）	8

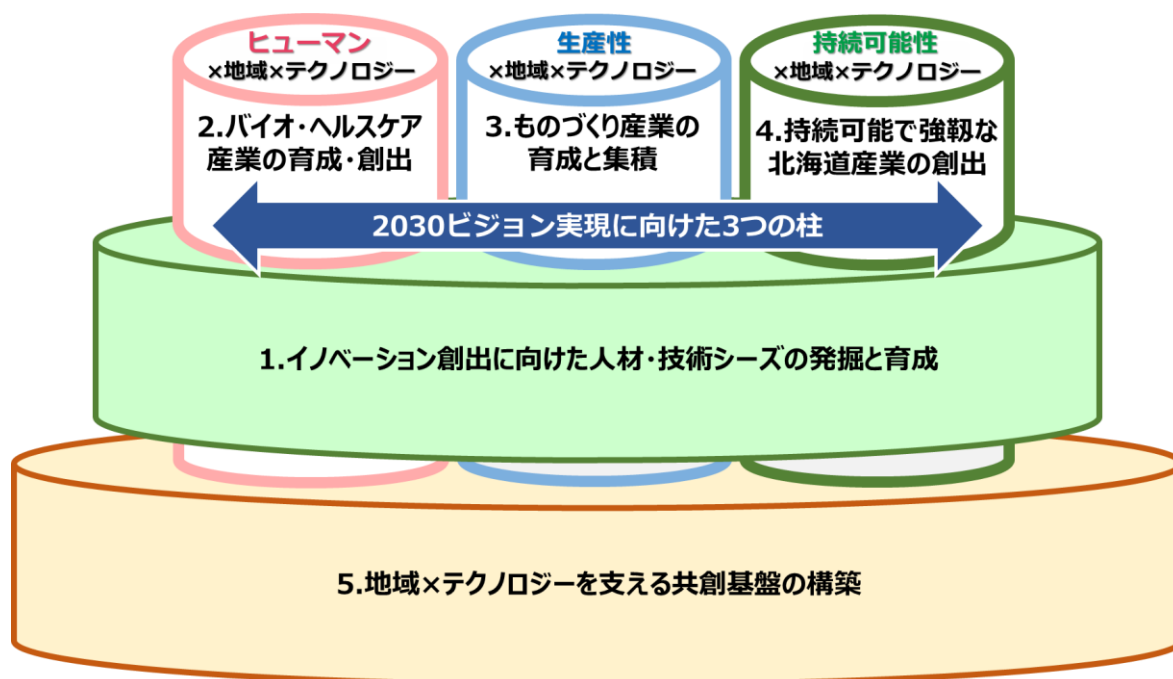
2025 年度 事業方針

北海道は少子高齢化や人口減少が進み、様々な地域課題が顕在化してきているが、一方で、豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを背景に、次世代半導体、AI データセンターなどの大型プロジェクトが始まり、2024 年 6 月には北海道と札幌市が政府の「GX 金融・資産運用特区」に選定されるなど、北海道経済が大きく飛躍するチャンスを迎えている。課題先進地域である北海道から壮大なイノベーションが始まろうとしている。

ノーステック財団では、課題解決と経済発展を両立し、豊かさを実感できる北海道の実現に向けた「2030 ビジョン」を策定し、アクションプランの 5 つの取り組みに基づき事業を進めている。

2024 年度は、最終年度を迎えた『チャレンジフィールド北海道』、スタートアップ支援、半導体人材育成、企業のものづくり開発支援、道産さつまいもをテーマにしたクラスター形成など、各種事業を PDCA サイクルを回しながら実施した。

2025 年度は、これら事業に加えて、大学発スタートアップの創出、地域課題解決プロジェクトの推進、製造業のロボット導入促進支援などを柱に、戦略的かつスピード感を持った事業を展開していく。特に、大学発スタートアップの創出に関しては、若手研究者などの助成事業と一体となった体制への見直しを行い、研究シーズの発掘および事業化に向けた伴走支援の強化を図る。



2030 ビジョン 「アクションプランの 5 つの取り組み」

2025 年度の主な取り組みは、以下のとおり。

1. イノベーション創出に向けた人材・技術シーズの発掘と育成

半導体・GX 関連分野を対象とした助成事業を新たに開始するとともに、大学発スタートアップの創出に向けて、各種助成事業による研究シーズ発掘とスタートアップ・エコシステム共創プログラム事業を連携し、一体となった取り組みを推進する。

2. バイオ・ヘルスケア産業の育成・創出

先導的な研究シーズやデジタル技術を活用して、超高齢社会を迎え成長が期待されている医療・ヘルスケア分野の産業の育成・創出に取り組む。

また、バイオ系スタートアップの国内外の企業間マッチングを支援することで道内バイオ関連企業のグローバル展開を後押しする。

3. ものづくり産業の育成と集積

ものづくり企業の稼ぐ力の源泉である製造拠点において、担い手不足や高齢化が深刻化している現状を踏まえ、持続的な生産基盤の維持・発展を目指したロボット導入等の省人化・省力化支援に注力する。

また、地域資源を活用した商品開発や販路拡大に対する支援事業『HOFOO プロジェクト』を推進するとともに、『道産さつまいも』を核とした食品産業クラスター形成に取り組む。

4. 持続可能で強靱な北海道産業の創出

北大キャンパスを拠点としたゼロカーボン社会実現の実証事業や、道内半導体産業の成長を支える人材育成の取り組みなど、持続可能で強靱な北海道産業の創出と、SDGs に貢献する未来志向の産業育成を多角的に推進する。

5. 地域×テクノロジーを支える共創基盤の構築

2024 年度で終了する経済産業省の産学融合拠点創出事業『チャレンジフィールド北海道』の取り組みについては、2025 年度から自主事業として継続し、地域課題の解決に向けたプロジェクト創出や産学連携を推進する各種取り組みを実施し、産学官の共創によるイノベーション創出の基盤を構築する。

以上

1. イノベーション創出に向けた人材・技術シーズの発掘と育成

新技術・新産業創出に向け、これまで財団が実施してきた研究開発支援事業を起点として、大学などで生み出されている研究成果（研究シーズ）を発掘・育成し、地域企業と連携したプロジェクトの推進や大学発スタートアップの創出に取り組む。

<大学発技術シーズへの研究開発支援>

(1) 若手研究人材育成事業（札幌市補助・自主）

北海道の将来の地域振興や産業の発展に資する先導的な研究を担う若手研究者の発掘を目的に研究費の助成を行う。

【助成額】 50 万円以内/件 30 件採択予定 （補助率 10/10）

(2) イノベーション創出研究支援事業（北海道補助・自主）

北海道の大学・試験研究機関などの優れた研究シーズ、地域資源などの活用を図る研究開発を支援することにより、北海道の産学官連携の基盤形成を推進するとともに、北海道経済の自立・発展及び道民生活の向上を目指す。

① 産学連携創出補助金

北海道内での事業化に向けた先導的な技術シーズ創出を目指す研究を支援する。

【助成額】 200 万円以内/件 13 件採択予定 （補助率 10/10）

② 研究成果展開補助金

産学の共同研究成果などを活用して北海道内で事業化を目指す研究を支援する。

【助成額】 400 万円以内/件 5 件採択予定 （補助率 10/10）

(3) 札幌バイオシーズ事業化支援事業（札幌市補助）

札幌市内の企業と道内研究機関が共同して行うバイオ分野の研究開発の事業化を促進し、札幌市の産業活性化を目指す。

【助成額】 300 万円以内/件 10 件採択予定 （補助率 10/10）

(4) 半導体／GX 関連技術シーズ育成事業（自主）

地域における重点産業分野において、持続的な産業発展を支える技術シーズの発掘・育成を目指す。

① 半導体関連技術シーズ育成補助金

半導体研究や先端半導体を活用する技術シーズ（AI/IoT 分野等）の実用化展開を目指す研究を支援する。

【助成額】 300 万円以内/件 3 件採択予定 （補助率 10/10）

② GX 関連技術シーズ育成補助金

脱炭素社会につながる技術シーズの実用化展開を目指す研究を支援する。

【助成額】 300 万円以内/件 3 件採択予定 （補助率 10/10）

(5) 次世代型研究開発事業（自主）

上記（1）～（4）の取り組みを基に、有望技術シーズの市場調査・技術動向調査や技術シーズを検証するための FS を実施する。

<産学連携研究開発プロジェクトの創出・育成>

(6) 産学連携研究成果展開事業（自主）

産学連携研究成果の事業化に向けた取り組みにおいて、具体的な課題解決を側面支援することにより、新規事業の立ち上げやスタートアップの創出を促進する。

また、専門家を活用した支援活動を通して専門知識や支援スキルの醸成を図る。

(7) 成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省補助）

中小企業等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化につながる研究開発及び事業化に向けた取り組みを支援する。

<大学発スタートアップ創出に向けた支援>

(8) スタートアップ・エコシステム共創プログラム事業（科学技術振興機構委託）

北海道大学を主幹機関とする「北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク（HSFC：エイチフォース）」に共同機関として参画し、道内の大学・高専における新たなシーズの発掘や伴走支援、GAP ファンドの募集・選考、VC 等とのマッチングに向けた研究成果発表会等を開催する。

2. バイオ・ヘルスケア産業の育成・創出

超高齢社会を迎え今後、成長が期待されている医療・ヘルスケアをはじめ、食・運動・睡眠・住環境など健全で生き生きとしたライフスタイルの実現に貢献する産業の育成・創出に取り組む。

<新事業創出に向けた研究開発支援>

(1) 先端研究産業応用検証事業（札幌市補助）

医療関連産業の活性化を目的として、先端的な技術シーズ・研究基盤を活かして治療や予防医療の事業化に取り組む札幌市内企業の研究開発を支援する。

【助成額】 250～500 万円以内/件 6 件程度 （補助率 2/3）

(2) 医療連携開発支援事業（札幌市補助）

医療機関等の現場従事者や患者等を取り巻く新たなニーズや課題解決に向け、将来的な実用化・事業化を目指す技術・製品開発に対し支援する。

【助成額】 100 万円以内/件 5 件程度 （補助率 10/10）

(3) 研究開発支援補助等運営事業（札幌市補助）

札幌バイオシーズ事業化支援事業、先端研究産業応用検証事業、医療連携開発支援事業にかかる調査・選考審査など円滑な事業運営を行う。

<新規参入企業・スタートアップの課題解決支援>

(4) 新規参入支援事業（札幌市補助）

医療・ヘルスケア分野における新規事業創出やスタートアップの成長を後押しするため、関連人材の交流イベントや、具体的な課題解決に向けた専門家派遣を行う。

(5) 展示商談会等参加支援事業（札幌市補助）

バイオ・ヘルスケア分野に参入する IT・ものづくり企業等の販路開拓や連携先探索に向けて、国内で開催される展示会への出展を支援する。

また、スタートアップ等に対し、海外製薬企業等とのアライアンス促進に向けて海外で開催される展示会・マッチングイベントへの参加を支援する。

<機能性食品・健康関連産業創出>

(6) 機能性食品開発支援事業（外部資金）

道内の食品産業の振興と道民の健康維持・増進を目的に、ヘルシーDo等の機能性食品の開発に向けた人材育成研修を行うとともに、マーケットを見据えた売れる商品開発支援等を行う。

また、製品の品質向上に向け、GMPに基づく製造管理を学ぶ研修会等を開催する。

(7) バイオ・健康長寿産業創造事業（自主）

道内の機能性食品や創薬関連の研究開発や販路拡大を目的としたネットワークを構築し、バイオ関連企業の売上げ増加を目指す。

3. ものづくり産業の育成と集積

ものづくり産業における人材確保や担い手不足の解決に向け、デジタル・ロボット等を導入した省人化・省力化の支援や新技術・新製品開発などに向けた取り組みを行う。

また、道内各地域のクラスター形成を促進するため、地域資源を活かした商品開発や販路拡大に対し専門家の活用を含めて一連のサポートを行う。

<新技術・新製品開発、実用化・事業化に向けた支援>

(1) ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業（札幌市補助）

「さっぽろ連携中枢都市圏」（札幌市と近隣 11 市町村）の中小企業者等が行う「ものづくり分野」や「環境関連分野」における、新技術・新製品開発を支援する。

【助成額】

- | | | | | |
|----------|---|--------------|---------|-----------|
| ・ものづくり分野 | ： | 500 万円以内/件 | 5 件採択予定 | （補助率 1/2） |
| ・環境関連分野 | ： | 1,000 万円以内/件 | 2 件採択予定 | （補助率 2/3） |

(2) ものづくり産業育成支援事業（自主）

事業化・製品化支援を実施した事業のフォローアップを行うとともに、事業化への補完的な開発や事業化、売上拡大に向けた取り組みを支援する。

<省力化・労働生産性向上に向けた支援>

(3) 製造拠点省人化・省力化促進事業（札幌市補助・自主）

食品製造業を主体に、道内に所在する製造業を対象として製造拠点（工場等）における自動化・ロボット導入の促進に向け、支援基盤を構築し、研修会等による人材育成、工場診断等のハンズオン支援等を行う。

(4) グリーン・デジタル推進事業（自主）

「北海道 DX 推進協働体」の枠組みを活用し、製造業における脱炭素・DX 推進に向けた機運の醸成に資する事例創出を目指す。

<クラスター形成に向けた地域の仕組みづくり>

(5) 地域産業クラスターものづくり支援事業（自主）

北海道の一次産品を活用した付加価値の高い商品の開発による地域の活性化・産業の強化を目指し、企画・開発・販売までの一貫したサポート「HOFOO プロジェクト」を実施する。

【助成額】 50 万円以内/件 20 件採択予定 （補助率 2/3）

(6) 食品産業クラスター形成支援事業（自主）

北海道産さつまいもをテーマとした食品産業クラスターの形成を支援する取り組み「さつまいも北海道プロジェクト」を推進する。

4. 持続可能で強靱な北海道産業の創出

持続可能で強靱な北海道産業に向けた新たな産業の創出とともに SDGs に貢献する未来を見据えた産業の育成に取り組む。

<未来を見据えた産業創出>

(1) 未来創造事業（自主）

SDGs に貢献する産業の育成を基本戦略に、地域課題の解決やイノベーション創出に向けた取り組みを行う。

① ゼロカーボン社会に向けた調査・実証事業

北大キャンパスのゼロカーボン化とその成果を社会展開することを目的に、電気と熱を統合する EMS 開発と実証設備の詳細設計を行う。

また、少子高齢化・過疎化により公共交通サービス維持が危ぶまれる中、普及が期待される自動運転について、積雪寒冷地特有の悪道路状況に対応した、モニタリングシステムを車載するフィールド実証を行う。

② 未来産業創出調査事業

将来を見据え、北海道で取り組むべき研究開発課題の発掘とプロジェクト構築に向けた調査・検討を行う。

③ 地域産業人材育成事業

道内最大のビジネスイベント「北海道ビジネス EXPO」を活用し、高校生・高専生が道内の企業・産業を学ぶツアーを企画・開催する。

また、道内の高校、高専を対象にゼロカーボンの取り組み等に関する出前講座等を開催する。

④ 半導体人材育成事業

道内の半導体産業の成長に向けて課題となっている技術者・専門人材の不足に対応するため、半導体人材の育成等に係る方策検討および中長期的育成・確保に向けた検討を行うとともに、半導体人材の需要と供給に関する調査、高専・大学生等を対象とした専門家等による出前講座や企業見学会などを開催する。

また、半導体関連企業と道内企業との取引を活発化させるため、「マッチング商談会」を開催する。

(2) 経済産業支援事業（自主）

今後、北海道の新たな産業として形成・集積が期待される分野に係る調査研究、研究開発、事業化開発を支援する。

<基盤技術創出支援>

(3) 幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助・幌延町補助・共同研究）

長期研究計画に基づき、猿払村小石地区に設置したボーリング孔を活用し、SCG 法の実用化に向けて基礎データを収集するとともに、新たに導入した分析装置により、CO₂ 注入試験によるメタン生成の検証を加速し、その影響因子の解明を進める。

また、地域の有用資源であるヨウ素の起源の解明に向けて各種分析を進める。

5. 地域×テクノロジーを支える共創基盤の構築

地域における課題解決や新価値の創造に向けて、大学などの「知」を活用した産学官の共創によるイノベーション創出の基盤を構築するとともに、イノベーション創出に向けた産学連携支援人材の育成を行う。

(1) チャレンジフィールド北海道事業（自主）

産学が連携し、産業の活性化、地域課題解決に向けた課題発掘プロジェクトを構築し、イノベーション創出を目指す。

また、道内のイノベーション創出を支えるコーディネーター人材の発掘・育成とネットワークの構築を行う。

(2) 北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大 R&BP 推進協議会委託）

産学官協働によって北大北キャンパスに整備されたリサーチ&ビジネスパークの機能を最大限生かし、イノベーションを連続的に創出する人材を育成するとともに、地域課題解決と道内経済の発展を図る。

(3) 産学官連携推進事業（自主）

産学官連携によるイノベーションの創出を目指して構築された様々なプラットフォームとの連携強化を図るとともに、ネットワーク形成に資する活動を行う。

(4) コラボほっかいどう運営事業（自主）

北海道産学官協働センター（コラボほっかいどう）の共同研究施設の貸与を行い、産学連携による共同研究が円滑に推進されるよう施設の適正な管理・運営と、入居者などに対する各種サポートを的確に実施する。

以上